

国名	一村一品運動を通じた地場産業振興プロジェクト
セネガル	

I 案件概要

事業の背景	セネガルでは、農村地域を中心に人口の57%が、貧困にあえいでいる。貧困削減の観点から、農業生産は天候に左右されるため、非農業セクターにおける雇用の拡大が不可欠である。特に、農産品加工といった手工業は、同国の社会経済開発において重点とされている。他方、ファティック州及びカオラック州は、未発達な農産品加工技術、消費者のニーズに基づく付加価値の高い製品開発のノウハウの欠如、不十分な手工業者向けの研修のための予算や体制、限定的な地元市場の規模による流通経路開拓の困難さ、など課題に直面していた。そのため、手工業者の収入は相対的に低く、地場産業の開発が限定的であることから、雇用創出は不十分なレベルにとどまり、農村部から都市部への人口流出が拡大していた。												
事業の目的	<p>本事業は、一村一品（OVOP）国家委員会及び州委員会の設立、OVOPガイドラインの策定とOVOPグループ向け研修の実施により、地場生産者による地場資源の活用を通じた所得創出活動の促進に向けたOVOPアプローチのモデルの構築を図り、もってOVOPグループの所得の向上に貢献することを目指した。</p> <p>1. 上位目標：一村一品運動を通じて地域資源を活用した一村一品生産者の所得が向上する。 2. プロジェクト目標：一村一品生産者による地域資源を活用した所得創出活動を促進するための一村一品運動のモデルが機能する。</p>												
実施内容	<p>1. 事業サイト：ファティック州、カオラック州 2. 主な活動：(1) 一村一品国家委員会、州委員会の設立、(2) OVOPガイドラインの策定、(3) OVOPグループ向け研修、等 3. 投入実績</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;">日本側</td> <td style="width: 50%; border: none;">相手国側</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">(1) 専門家派遣：8人</td> <td style="border: none;">(1) カウンターパート配置：7人</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">(2) 研修員受入：2人</td> <td style="border: none;">(2) 土地・施設：ファティック州及びカオラック州手工業局内のプロジェクト執務室</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">(3) 機材供与：PC、プロジェクター、プリンター・コピー機、カメラ、等</td> <td style="border: none;">(3) 現地業務費：車両費、燃料費・消耗品、プロジェクト執務室共益費</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">(4) 現地業務費：事業活動費</td> <td style="border: none;"></td> </tr> </table>			日本側	相手国側	(1) 専門家派遣：8人	(1) カウンターパート配置：7人	(2) 研修員受入：2人	(2) 土地・施設：ファティック州及びカオラック州手工業局内のプロジェクト執務室	(3) 機材供与：PC、プロジェクター、プリンター・コピー機、カメラ、等	(3) 現地業務費：車両費、燃料費・消耗品、プロジェクト執務室共益費	(4) 現地業務費：事業活動費	
日本側	相手国側												
(1) 専門家派遣：8人	(1) カウンターパート配置：7人												
(2) 研修員受入：2人	(2) 土地・施設：ファティック州及びカオラック州手工業局内のプロジェクト執務室												
(3) 機材供与：PC、プロジェクター、プリンター・コピー機、カメラ、等	(3) 現地業務費：車両費、燃料費・消耗品、プロジェクト執務室共益費												
(4) 現地業務費：事業活動費													
協力期間	2011年3月～2014年4月 (延長期間：2013年3月～2014年4月)	協力金額	(事前評価時) 350百万円、(実績) 373百万円										
相手国実施機関	職業訓練・研修・手工業省手工業局 (Direction de l'Artisanat, Ministère de la Formation Professionnelle, de l'Apprentissage et l'Artisanat: DA)												
日本側協力機関	日本工営株式会社、株式会社コーエイ総合研究所												

II 評価結果

<留意事項>

【上位目標の達成度の検証】

上位目標の達成度は、OVOP製品の売り上げ利益とOVOP生産者の所得の2つの指標について、中間レビュー時のベースラインデータと事後評価時点のデータとの比較で検証すべきものであった。しかしながら、中間レビュー時のベースラインデータは入手されておらず、上位目標の達成度は、事業完了時点のデータ（2014年）と直近の入手できたデータ（2017年）に基づいて検証を行った。

【プロジェクト目標の指標の継続状況の検証】

プロジェクト目標指標3（本事業の参加者の満足度）は、OVOPモデルの有効性の検証に適した指標であったが、事業完了後の効果の継続状況の検証には適していないため、事後評価時点での指標3に係るデータ収集は割愛した。

1 妥当性

【事前評価時・事業完了時のセネガル政府の開発政策との整合性】

本事業は、手工業セクターの振興に重点を置く、「手工業セクターの開発政策書」（2006年）、「貧困削減戦略書（DRSP）」（2006年～2010年）、及び「経済・社会開発国家戦略（SIDES）」（2013年～2017年）という、セネガル政府の開発政策に合致していた。

【事前評価時・事業完了時のセネガルにおける開発ニーズとの整合性】

本事業は、農産品加工を含む、手工業の振興による、ファティック州及びカオラック州における地場資源を活用した所得創出機会の向上という、セネガルの開発ニーズに合致していた。

【事前評価時における日本の援助方針との整合性】

本事業は、2つの重点分野のうちの一つである、地場産業振興を含む、持続的な経済成長の基盤構築という、対セネガル援助方針¹に合致していた。

【評価判断】

以上より、本事業の妥当性は高い。

2 有効性・インパクト

¹ 外務省「国別 ODA データブック」2009年。

	<p>(指標 2) OVOP グループ (OVOP 及び優良 OVOP グループ) の事業活動 (生産、経営、マーケティング/販売、組織運営/開発) が改善される。</p>	<p>達成状況：達成 (継続) (事業完了時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 36 の OVOP グループの生産量が増加した。 ● ダカールの OVOP ショップにおける販売拠点の獲得を含む、マーケティング活動が実施された。 ● 製品の質の安定化についての意識が徐々に改善した。 <p>(事後評価時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 一部の OVOP 生産者は、生産拡大による販売利益により、追加の土地購入を行うことができた。 ● 「農業フェア」、「ダカール国際フェア」、「農業・家畜国際フェア」への参加により、OVOP グループは幅広い顧客に製品を紹介することができた。 																																				
	<p>(指標 3) 80%以上の OVOP グループ (OVOP 及び優良 OVOP グループ) が本事業への参加に満足する。</p>	<p>達成状況：達成 (一部継続) (事業完了時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● インタビューを受けた第 2 サイクルの優良 OVOP グループは、本事業による支援によるワークショップや販路の拡大に満足していた。 <p>(事後評価時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 適用不能 																																				
	<p>(指標 4) OVOP グループの生産量が 10%増加する。</p>	<p>達成状況：達成 (継続) (事業完了時)</p> <p>[OVOP グループの生産量の伸び率]</p> <table border="1" data-bbox="774 721 1513 891"> <tr> <td rowspan="2">第 1 サイクル (2011 年)</td> <td rowspan="2">優良 OVOP</td> <td>61% (2011 年～2012 年)</td> </tr> <tr> <td>79% (2012 年～2013 年)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第 2 サイクル (2012 年)</td> <td>優 良</td> <td>28% (2012 年～2013 年)</td> </tr> <tr> <td>OVOP</td> <td>16% (2012 年～2013 年)</td> </tr> </table> <p>(事後評価時)</p> <p>[OVOP グループの生産量] (1,000 CFA)</p> <table border="1" data-bbox="774 952 1513 1146"> <thead> <tr> <th>州</th> <th>2014 年</th> <th>2015 年</th> <th>2016 年</th> <th>2017 年</th> <th>2018 年 8 月現在</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ファティック</td> <td>5,023</td> <td>4,675</td> <td>3,047</td> <td>2,450</td> <td>1,103</td> </tr> <tr> <td>カオラック</td> <td>4,729</td> <td>7,233</td> <td>9,542</td> <td>11,245</td> <td>9,874</td> </tr> </tbody> </table>	第 1 サイクル (2011 年)	優良 OVOP	61% (2011 年～2012 年)	79% (2012 年～2013 年)	第 2 サイクル (2012 年)	優 良	28% (2012 年～2013 年)	OVOP	16% (2012 年～2013 年)	州	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年 8 月現在	ファティック	5,023	4,675	3,047	2,450	1,103	カオラック	4,729	7,233	9,542	11,245	9,874									
第 1 サイクル (2011 年)	優良 OVOP	61% (2011 年～2012 年)																																				
		79% (2012 年～2013 年)																																				
第 2 サイクル (2012 年)	優 良	28% (2012 年～2013 年)																																				
	OVOP	16% (2012 年～2013 年)																																				
州	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年 8 月現在																																	
ファティック	5,023	4,675	3,047	2,450	1,103																																	
カオラック	4,729	7,233	9,542	11,245	9,874																																	
	<p>(指標 5) OVOP キャンペーンのサイクルが、それぞれの対象州で毎年実施される。</p>	<p>達成状況：達成 (継続) (事業完了時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● OVOP キャンペーンは、第 1 サイクル、第 2 サイクルにおいて実施された。 <p>(事後評価時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ファティック州及びカオラック州で OVOP 活動を拡大するための OVOP キャンペーンが実施された。 																																				
<p>上位目標 一村一品運動を通じて地域資源を活用した一村一品生産者の所得が向上する。</p>	<p>OVOP 製品の売上利益が本事業実施前から 10%増加する (対中間レビュー時データ比)</p>	<p>(事後評価時) 一部達成 [OVOP 生産者の売上高] (百万 CFA)</p> <table border="1" data-bbox="774 1429 1513 1568"> <thead> <tr> <th>対象州</th> <th>2014 年</th> <th>2015 年</th> <th>2016 年</th> <th>2017 年</th> <th>2018 年 8 月現在</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ファティック</td> <td>15.3</td> <td>10.9</td> <td>10.3</td> <td>4.6</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>カオラック</td> <td>13.4</td> <td>17.3</td> <td>25.3</td> <td>33.1</td> <td>33.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>ファティック州の OVOP 製品の売上高については、ギニアにおけるエボラ出血熱による観光への打撃、OVOP グループが生産するハチミツに負の影響を及ぼす気候変動、モリングの大規模生産者の出現による不公平な競争、といった外部要因により、事業完了後の 2014 年以降、減少傾向にある。なお、エボラに対する対応がセネガルの保健局により講じられた後は、こうしたネガティブな傾向には改善が見られる。さらに、手工業局は、競合企業と、協調の可能性について協議を行う予定である。また、競合企業は OVOP グループの成功に役立つという経験があるので、事態が好転することに対し楽観視している。</p> <p>(事後評価時) 一部達成 [OVOP 生産者の平均所得] (百万 CFA)</p> <table border="1" data-bbox="774 1859 1513 1995"> <thead> <tr> <th>州</th> <th>2014 年</th> <th>2015 年</th> <th>2016 年</th> <th>2017 年</th> <th>2018 年 8 月現在</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ファティック</td> <td>7.6</td> <td>7.0</td> <td>3.1</td> <td>1.9</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>カオラック</td> <td>4.3</td> <td>5.5</td> <td>8.2</td> <td>11.1</td> <td>10.5</td> </tr> </tbody> </table>	対象州	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年 8 月現在	ファティック	15.3	10.9	10.3	4.6	2.0	カオラック	13.4	17.3	25.3	33.1	33.1	州	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年 8 月現在	ファティック	7.6	7.0	3.1	1.9	0.8	カオラック	4.3	5.5	8.2	11.1	10.5
対象州	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年 8 月現在																																	
ファティック	15.3	10.9	10.3	4.6	2.0																																	
カオラック	13.4	17.3	25.3	33.1	33.1																																	
州	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年 8 月現在																																	
ファティック	7.6	7.0	3.1	1.9	0.8																																	
カオラック	4.3	5.5	8.2	11.1	10.5																																	

出所：終了時評価報告書、事業完了報告書、OVOP 生産者へのインタビュー及び質問票調査、OVOP ショップ、ファティック及びカオラック州手工業協議会、手工業局

3 効率性

事業費及び事業期間は計画を超過した（計画比：それぞれ、107%、103%）。アウトプットは計画通り産出された。よって、効率性は中程度である。

4 持続性

【政策制度面】

本事業で導入したOVOP活動は、現状の成長の原動力と新たな財、雇用、社会的包摂の創出力との統合を通じた経済の構造変革、及び強力な輸出力と投資誘致を目的とする、「新興セネガル計画」（2014年～2018年）により、依然として裏付けられている。手工業セクターは、同計画において、重要な柱の一つとなっている。

【体制面】

本事業で導入したOVOPモデルの体制に変更はない。手工業局は、OVOPモデルの普及を所管している。4名が配置されており、手工業局の職員によれば、本邦研修は有益であり、研修に参加後、OVOPグループへの支援を行うのに十分な能力を備えている。また、人員は十分であるとしている。それぞれの対象州の手工業協議会は、OVOPグループのフォローアップを行っている。各州にそれぞれ4名の職員が配置されており、彼らに対する電話でのインタビューでは、過重労働に関する不満はないとの回答を得ていることから、人員は十分であるといえる。職員は、多くがそれぞれのコミュニティメンバーであるOVOP生産者とは良好な関係を維持していると報告している。

【技術面】

手工業局及び手工業協議会の職員すべては、本事業で導入したOVOPモデルの維持に必要な十分な知識・スキルを保持している。手工業局は、知識・スキルの向上の必要性を把握しており、OVOPモデルの継続には優秀な職員の損害が重要であることを認識している。そのため、手工業局では、職員が、米国国際開発援助庁、フランス開発庁など、他ドナーによる研修を受けた場合には、内部研修を行う体制を構築し、他の職員と知識を共有できる研修セッションを行っている。

手工業局及び対象州の手工業協議会によれば、本事業で作成されたOVOPガイドラインは、広報キャンペーン、セミナーやプロモーション、申請の提出、グループ選定などの場面で活用されている。これは、OVOPモデルの最初から最後まで有益かつ一貫してわかりやすいプロセスを網羅しているためである。

また、手工業・商業協議会局によれば、モニタリング・フィードバックマニュアルについても、事業完了後も活用されている。これは、マニュアルが、対象とするOVOPグループへの研修に教育的なサポートとなり、また、OVOPモデルを実施・拡大する際の有益なアドバイスとなるものであるからである。

【財務面】

OVOPモデルの普及を含む、OVOP活動の予算は、一定して確保されていない。予算不足のため、2014年及び2016年には、新たに選定されたOVOPグループの数はわずかであった。2017年には、選定されたグループは、一グループ当たりおよそ50万CFAにとどまったものの、結果的に資金を得ることができた。資金は、機材購入や、ダカールにおける2017年国際フェアへの参加費に充てられた。

【評価判断】

以上より、予算面に課題があり、本事業によって発現した効果の持続性は中程度である。

5 総合評価

本事業は、OVOP生産者の地場資源を活用した所得創出活動の促進に向けたOVOPモデルを機能させることを目指した、プロジェクト目標を達成し、上位目標を一部達成した。持続性については、OVOPモデルの普及展開に向けた財源の確保には懸念があるものの、手工業局及び対象州の手工業協議会は、OVOPモデルの普及を継続するために必要な能力を持った職員を維持している。効率性については、事業期間及び事業費が計画を超過した。

以上より、総合的に判断すると、本事業の評価は高いといえる。

III 提言・教訓

実施機関への提言：

手工業局及び対象州の手工業協議会は、OVOP研修の有用性をより多くの人々が生かせるよう、講師研修を開催することが求められる。

JICAへの教訓：

本事業では、OVOPグループへの能力構築に加えて、資金支援を行ったことがコミュニティに良好なインパクトをもたらした。したがって、事業デザインにあたっては、能力構築に向けた研修コンポーネントだけでなく、OVOPグループが活動開始するにあたり、必要な資源を提供するためのコンポーネントを組み入れることが不可欠である。また、OVOP活動による事業効果を持続させるには、製品の認証取得及び近隣の観光需要に依存しないように複数の販売拠点を設けることが重要である。また、事業のインパクトを最大化するため、事業デザイン時点において、OVOPアプローチを他州や対象州の他の受益者に対し、広めるための事業コンポーネントを組み入れておくことが望ましい。



優良 OVOP グループが生産したモリンガオイル



OVOP グループが生産した手作りの織物



本事業で支援を受けて購入された精米機